

Shigeko Suzuki Presents

café Slow*

未来からの手紙

～新しい地球のいのちに出会う旅

Vol.2 平和というアート

ウォン・ウィンツァン

<http://www.satowa-music.com/>

瞑想のピアニスト、即興演奏家、作編曲家

鈴木重子 <http://shigeko.jp/>

ヴォーカリスト、いのちの響きを紡ぐ歌手

2011/09/10(土)

Open 18:00 Start 19:00

Before ¥3,000- Door ¥3,500- (with/1drink)

会場：カフェスロー お申込み：042-401-8505

<http://www.cafeslow.com/>

※からだに優しいオーガニックな、お食事とお飲み物も、
どうぞお楽しみ下さい(別オーダー)。

100年後の未来から、手紙が届いたら
そこには、どんなことが書かれていると思いますか？
100年後の空は、どんな色でしょう？
100年後のひとびとは、幸せでしょうか？

歌うことをライフワークにして、15年あまりが過ぎました。
自分の「ほんとう」を声にすることで、
聴く人の、「ほんとう」につながりたい、と願って歌ううちにだんだん、
この星の、生きとし生けるものすべてが、共に幸せになるためには
どうすればいいのだろうと、真剣に考えるようになりました。

すべてのいのちが、助け合って、その輝きを全うできる世界。
そんな世界を創るためには、何が必要なのだろう？
何を手放せば、いいのだろうか？ 私は、音楽のことしか知らない。
そうだ、道しるべをくれる人に、会いにでかけよう。

環境、平和、政治、経済、エネルギー、文化、音楽、食、教育…
「いのち」を鍵にして考えると、これらの問題はすべて、つながっているのだということが分かってきます。
まるでいのちという根っこから育つ木の、ひとつひとつの枝のように。

「未来からの手紙」では、毎回、さまざまな分野で、新しい世界の可能性を探し、実践を始めている
「未来の案内人」の方々をお招きして、その試みや、希望、困難に耳を傾け、今、私たちにできることは
何なのかということ、一緒に考える、ゆるやかなひとの輪をつくっていきたいと思います。
続けていくうちに、未来のこの星のすがたと、「今」という時の意味が、見えてくる、
そんなこころの旅に、一緒に出かけませんか？

第2回目の今回は、音楽家として自らの真実を追求しながら、
平和のためにたくさんの芸術活動に携わってこられた魂のピアニスト、ウォン・ウィンツァンさんをお迎えして
『平和という芸術(アート)』について考えてみたいと思います。

‘Breath for Peace(平和への息づかい)’というプロジェクトの発起人として、世界中の戦地から歌をあつめながら、
私はいつまでも続く争いの痛みを涙を流し、またその中から生まれてくる、祈りの美しさ、力強さにこころを打たれ
ました。

未曾有の災害により、多くの方々を失った今、わたしたちは、自分たちのために、世界のために、いったいどんなこ
とができるでしょうか。9.11テロ事件から10年目のこの日を、失われた命へのレクイエムと、新たな平和への祈
りの時間にできたらと願っています。100人の作家による、ピースアートポスターに見守られながら、さまざまな
国のひとが分かち合ってくれた平和のうたを、ウォンさんのピアノとともに送りします。

鈴木重子

*「ピースアート」ポスター展 9/6~19 スローギャラリー <http://www.nakashoz.net/peaceart/>

